



LEDフォロースポットライト

*Crenostar-LED*

## MP-6P-LED 取扱説明書

---

### Spotlight Manual

この度は松村電機の製品をお買い上げいただき、

誠にありがとうございます。

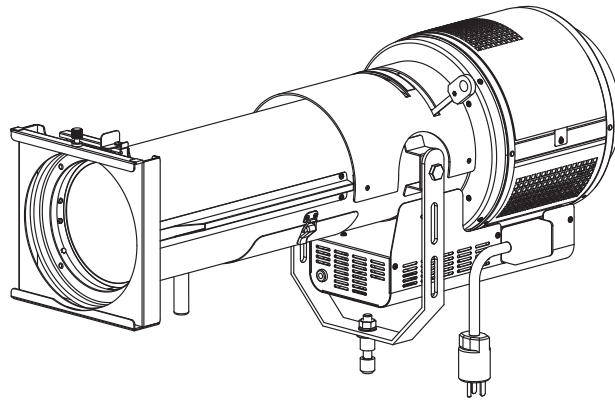
末長く安全にご愛用いただくために、

取付・設置およびご使用前には、

**必ず取扱説明書をお読みください。**

お読みいただいた後は大切に保管し、

必要なときに活用してください。

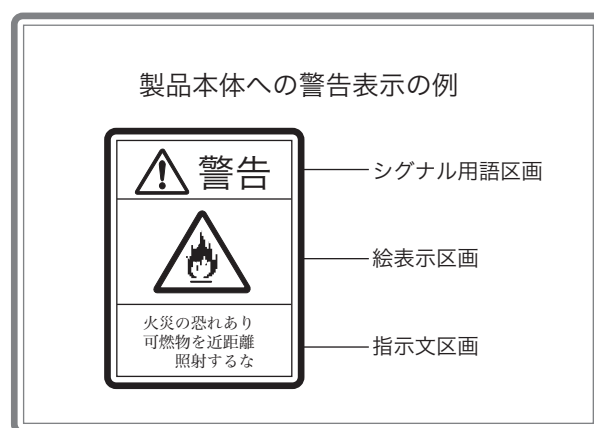


# 《目 次》

警告表示内容の説明.....	1	外形寸法.....	11
本体表示銘板と表示内容.....	2	照度データ.....	11
取扱上の注意事項.....	3	点検と修理.....	12
ご使用方法.....	6	仕様.....	13
[1] 各部の名称.....	6	弊社連絡先.....	13
[2] 取付け方法.....	6		
(1) スタンドへの取付け.....	6		
[3] 電源の接続.....	7		
(1) 入力電源について.....	7		
(2) 電源の接続.....	7		
[4] 操作方法.....	7		
(1) 調光操作の選択.....	7		
(2) 調光操作について.....	8		
(3) シャッタの調整.....	8		
(4) チルトの調整.....	8		
(5) フォーカスの調整.....	9		
(6) フィルタホルダの装着.....	9		
(7) パターンホルダの使用 (オプション) .....	10		
[5] レンズの清掃.....	10		



## 《警告表示内容の説明》

照明機材の本体に警告表示をしています。  
取扱うときには、警告表示内容をよくご理解のうえ安全にご使用ください。



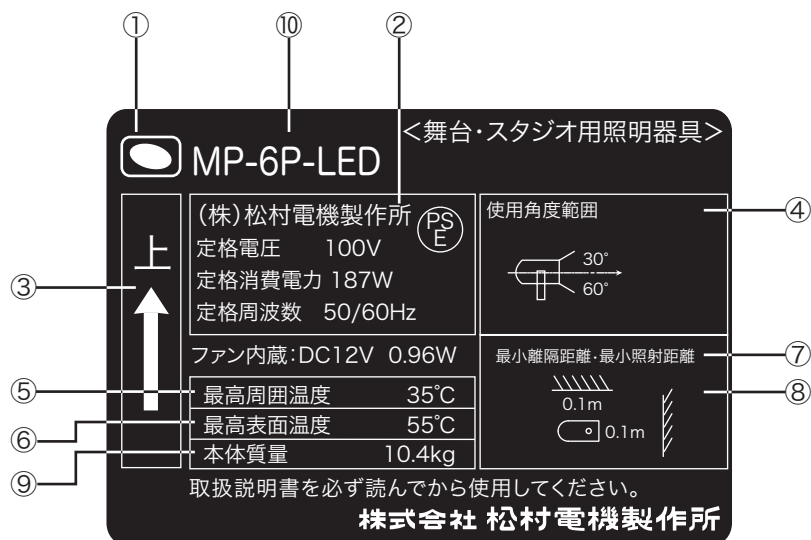
### 《警告表示の注意喚起シンボルとシグナル用語》

警告表示の注意喚起シンボルとシグナル用語の意味

- |   |    |  |
|---|----|--|
|  | 警告 | 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い場合。 |
|  | 注意 | 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合。       |

# 《本体表示銘板と表示内容》

照明器具の本体に下記の銘板を表示しています。  
取扱うときには、銘板の表示内容をよくご理解のうえ安全にご使用ください。



- ① 用途表示 : 「演出空間用照明器具」であることを表示しています。
- ② 法定表示 : 電気用品安全法の規定による「製造事業者名」「定格電圧」「定格消費電力」「定格周波数」「 $\text{PSE}$ マーク」を表示しています。
- ③ 上部方向表示 : 器具の上部方向を表示しています。必ず矢印の方向を上にして取付けてください。
- ④ 使用角度範囲 : 基準方向（光軸水平方向）に対する使用角度の範囲を表示しています。  
図示された範囲内でご使用ください。
- ⑤ 最高周囲温度 : 通常の使用状態のもとで、連続動作させてもよい周囲温度の最高値を表示しています。
- ⑥ 最高表面温度 : 使用角度範囲内において、連続点灯したときの外面温度の最高値を表示しています。
- ⑦ 最小照射距離 : 器具と被照射対象物との間の最小距離を表示しています。
- ⑧ 最小離隔距離 : 器具周辺と可燃物との間の最小距離を表示しています。
- ⑨ 本体質量 : 器具本体の質量を表示しています。（ハンガー、その他の付属品は含みません）
- ⑩ 型名 : モデル番号（型番）または名称を表示しています。

# 《取扱上の注意事項》



## 警告



- 演出空間用の器具です。演出空間の用途以外には、使用しないでください。  
一般用照明器具として使用する製品ではありません。



- 器具の本体質量に見合った取付金具を使用してください。  
取付金具の選定を間違えると落下し、物的損害・けがの原因となります。



- 器具の取付・設置には、可燃物と器具周辺面（照射方向を除く）との最小距離を本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。  
指定距離より近すぎると、火災の原因となります。



- 集光形照明器具と被照射面の距離は、本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとってください。  
指定距離より近すぎると、被照射物の火災の原因となります。



- 器具の使用角度に制限のある器具があります。  
本体表示及び取扱説明書に従って正しく使用してください。  
使用角度範囲を超えると、器具の破損、不点灯や損傷の原因となります。



- 器具の取付・設置時は、ケーブル類を器具本体に接触しないように取付けてください。  
接触していると火災の原因となります。



- 振動の激しい場所、常時振動のある場所への取り付け設置は行わないでください。  
器具本体の破損などで落下し物的損害・けがの原因となります。



- 機器の銘板に表示されている電源に接続してください。火災・不点灯や損傷の原因となります。



- 器具の点灯中及び消灯直後は、本体周辺を素手で触らないでください。  
本体周辺が高温のため、やけどの原因となります。



- フィルタホルダ枠の押さえ金具（フィルタホルダ固定ネジ）を確実に止めてください。  
押さえ金具（フィルタホルダ固定ネジ）を確実に止めないと、フィルタホルダが落下し、物的損害・けがの原因となります。



- フィルタホルダは、適合品を使用してください。  
フィルタホルダの破損・変形したものを使用すると落下し、物的損害・けがの原因となります。



- 器具を分解したり改造しないでください。  
故障・感電・火災の原因となります。



- 煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると火災・感電の原因となります。



- 異常と思われるときはすぐにプラグを抜き、異常状態がおさまったことを確認してから原因を究明してください。  
容易に原因の究明ができない場合は、弊社に修理を依頼してください。



- ダボ締結ナットは緩みがないか日常保守点検してください。  
確実に取付けないと取付金具の破損により装置が落下し、物的損害・けがの原因になります。



# 注 意

## 1.使用環境・使用条件について

- この器具は屋内用です。屋外で使用しないでください。  
屋外で使用すると、感電・火災の原因となることがあります。
- この器具は最高周囲温度以下で使用してください。  
破損・変形・火災・不点灯や損傷の原因となることがあります。
- 湿気や水気のあるところで使用しないでください。  
感電・火災の原因となることがあります。
- 不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。  
倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります。

## 2.取付・設置について

- 器具の取付・設置前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。  
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 据付施工は、電気工事士などの熟練者（専門家）が行ってください。  
未熟練者だけでの対応は、間違いの原因になるおそれがあります。
- 器具の取付・設置は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。  
未熟練者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 器具の取付・設置に方向性のある器具があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。指定以外の取付を行うと、器具本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具のフィルタホルダ枠にカラーチェンジャ等の付属品を装着する場合は、フィルタホルダ枠の許容荷重に見合った付属品を使用してください。  
不適正な付属品の使用は、器具本体の破損、付属品の落下による物的損害・けがの原因になります。

## 3.使用前の準備について

- 器具の使用前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。  
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 器具の使用前の準備は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。  
未熟練者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 電源接続は、取扱説明書に従って確実に行ってください。  
接続が不完全な場合は、接触不良により火災の原因となります。

## 4.使用方法について

- 器具を取扱う場合は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。  
未熟練者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 器具の取付に方向性のあるものがあります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。  
指定以外の取付を行うと、本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 紙フィルタホルダは、適合品を使用し位置ずれに注意してください。  
位置ずれがあると火災の原因となります。
- 器具のフィルタホルダ枠にカラーチェンジャ等の付属品を装着する場合は、フィルタホルダ枠の許容荷重に見合った付属品を使用してください。  
不適正な付属品の使用は、器具本体の破損、付属品の落下による物的損害・けがの原因になります。
- 地震などの天災の後、再使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が、点検を行ってください。未熟練者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- この器具は精密機器です。衝撃の加わる操作はしないでください。  
器具の損傷、不点灯や損傷の原因となります。
- ハロゲン器具等と同時に使用する場合は、本器具から十分離して使用してください。  
熱により不点灯や損傷の原因となります。
- 点灯しているLEDを近距離もしくは長時間直視しないでください。  
目を傷めたり、悪影響を及ぼす恐れがあります。



## 注 意

### 5.保守点検について

- 器具は、日常点検を実施してください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
- 器具の点検（整備）は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。未熟練者だけの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 部品交換、清掃時は、必ず電源を切ってください。  
電源を切らないと感電することがあります。
- 電源ケーブル、接続器は日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。  
感電・火災の原因となることがあります。
- ファン付器具は、埃などでふさがっていないか日常点検し、清掃してください。  
器具の故障・火災原因となります。
- レンズの清掃は、レンズに傷をつけないように取扱説明書に従って実施してください。  
レンズの破損・けがの原因となります。
- 器具のネジ類は、振動で緩む場合があります。取扱説明書に基づき処置をしてください。  
故障、落下による物的損害・けがの原因となります。
- 埃や紙吹雪が溜まったまま使用しないで、清掃してください。  
火災の原因となります。
- 交換部品は、弊社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。  
器具の機能劣化・感電・火災の原因となります。

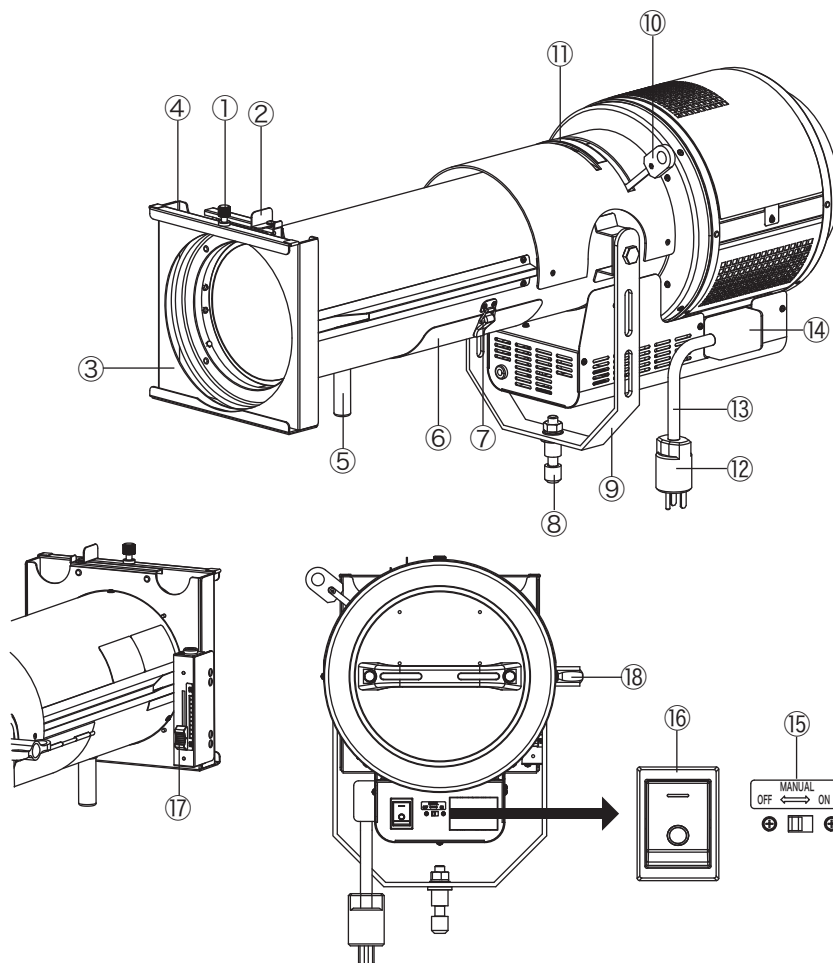
### 6.保管時について

- 埃の多い場所や湿度が高く、結露しやすい環境に保管しないでください。  
故障・絶縁不良の原因となります。
- 再使用するときは、点検を必ず行ってから使用してください。  
感電・火災の原因となるおそれがあります。

# 《ご使用方法》

## [1]各部の名称

- ① フィルタホルダ固定ネジ
- ② フィルタホルダ枠押さえ金具
- ③ 前フィルタホルダ枠
- ④ 後ろフィルタホルダ枠
- ⑤ フォーカス固定ハンドル
- ⑥ 点検清掃用扉
- ⑦ パッチン錠
- ⑧ ダボ
- ⑨ アーム
- ⑩ シャッタ調整レバー
- ⑪ パターンホルダ挿入口
- ⑫ 電源プラグ
- ⑬ 電源ケーブル
- ⑭ 端子台
- ⑮ MANUAL切替スイッチ
- ⑯ オン/オフスイッチ
- ⑰ 調光フェーダ
- ⑱ チルト固定ハンドル

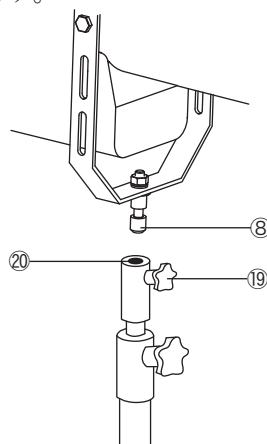


## [2] 取付け方法

### (1) スタンドへの取付け

● スタンドは、平らな所でご使用ください。

- 1) ダボ固定ハンドル⑱を反時計回りにまわして、ダボ受け穴⑳にダボ⑧が入るよう緩めます。
- 2) ダボ⑧をダボ受け穴⑳に差し込みます。
- 3) ダボ固定ハンドル⑱を時計回りにまわして確実に固定します。
- 4) 器具の銘板の上部方向表示に従い器具をセットします。



— 上部方向表示

## [3]電源の接続

### (1)入力電源のご注意

1) 入力電源はAC100V 50/60Hz電源の純直回路を使用してください。

### (2)電源の接続

1) 電源プラグ⑫をAC100V 50/60Hz電源の純直回路に接続してください。

#### ⚠ 注意

- ・調光器の出力を電源として使用することはできません。
- ・プラグのアースが必ず接地されるように接続してください。

## [4]操作方法

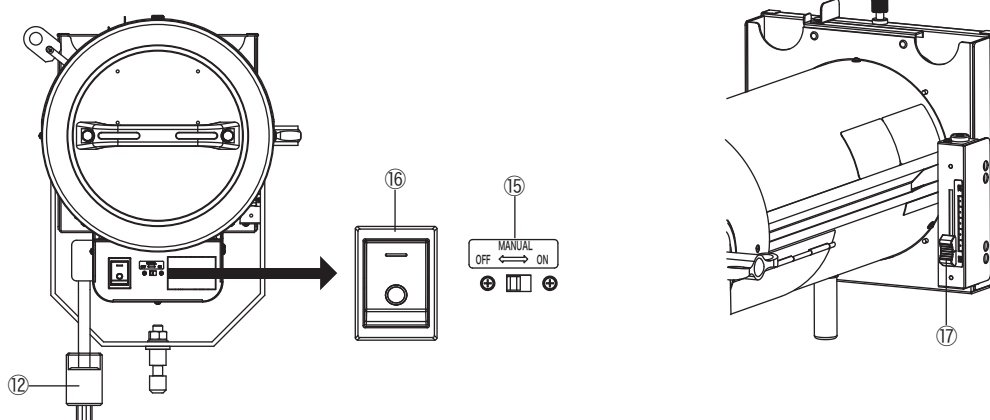
### (1)調光操作の選択

1) 電源プラグ⑫をコンセントに接続します。

2) 器具後部にあるMANUAL切替スイッチ⑮で調光制御モードを選択してください。

- ・オフ（直点灯モード）：直点灯します。（調光はしません）
- ・オン（調光モード）：調光フェーダ⑰で調光操作が可能です。

3) オン/オフスイッチ⑯をオンにして点灯させます。3) 調光フェーダ⑰を上下にスライドさせ調光操作を行います。

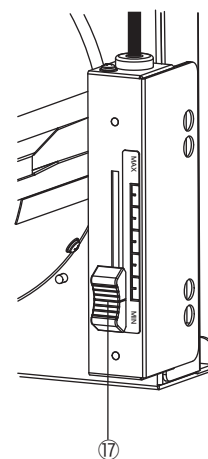
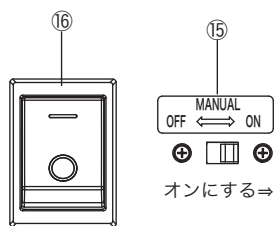




## (2) 調光操作について

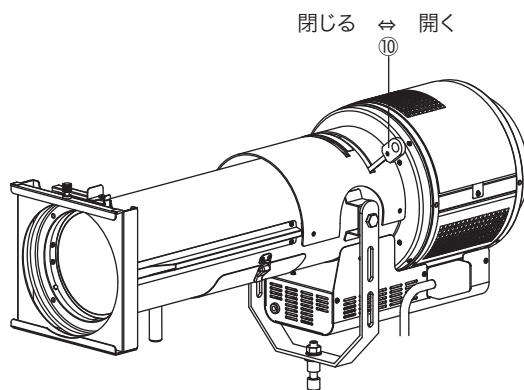
- 1) MANUAL切替スイッチ⑮をオンにします。
- 2) オン/オフスイッチ⑯をオンにして点灯させます。
- 3) 調光フェーダ⑰を上下にスライドさせ調光操作を行います。

- ・ MIN : 調光レベルが下がります。
- ・ MAX : 調光レベルが上がります。



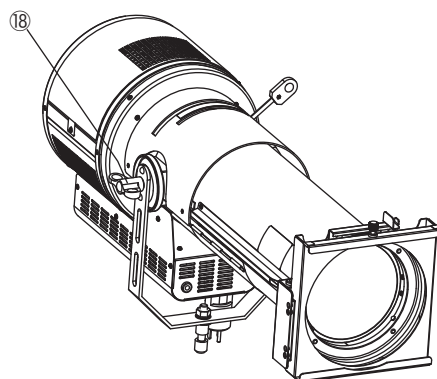
## (3) シャッタの調整

- 1) シャッタ調整レバー⑩を動かし、照射径の大きさを自由に調整できます。



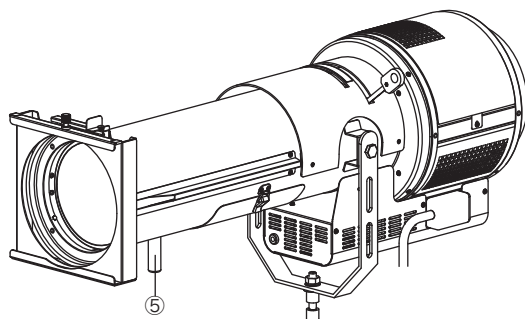
## (4) チルトの調整

- 1) チルト固定ハンドル⑱を反時計回りにまわし緩め、角度を決め、時計回りにまわし確実に固定します。



## (5)フォーカスの調整

- 1) 器具を点灯します。
- 2) フォーカス固定ハンドル⑤を反時計回りにまわして緩め、前後に動かしながらピントの調整をします。
- 3) 調整後、フォーカス固定ハンドル⑤を時計回りにまわし、確実に固定します。



## (6)フィルタホルダの装着

- 1) 使用するカラーフィルタをフィルタホルダ②①のサイズに合わせ、カッターなどで切っておきます。
- 2) 器具からフィルタホルダ②①を取り出します。
- 3) カラーフィルタをフィルタホルダ②①に挟みます。

### 【後ろフィルタホルダ枠への装着（上からの装着）】

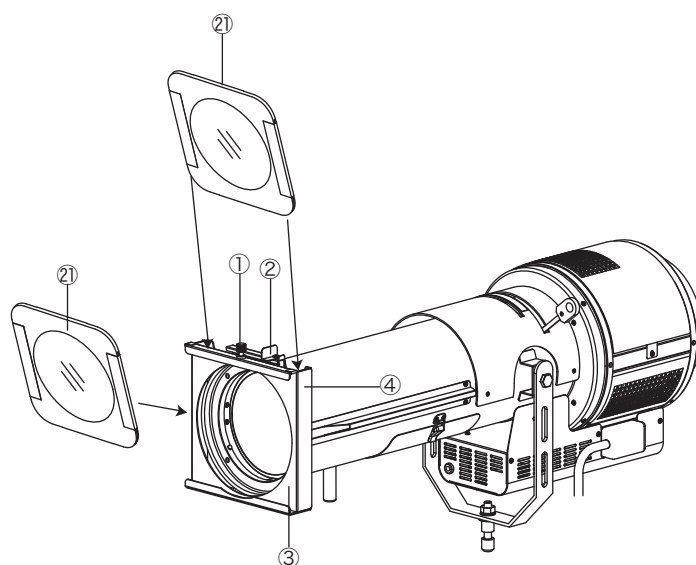
フィルタホルダ枠押さえ金具②をスライドさせロックを解除します。

上方向からフィルタホルダ②①を後ろフィルタホルダ枠④に装着し、フィルタホルダ枠押さえ金具②をスライドさせロックをして落下防止を行います。

### 【前フィルタホルダ枠への装着（横からの装着）】

前フィルタホルダ枠③にフィルタホルダ②①を装着します。

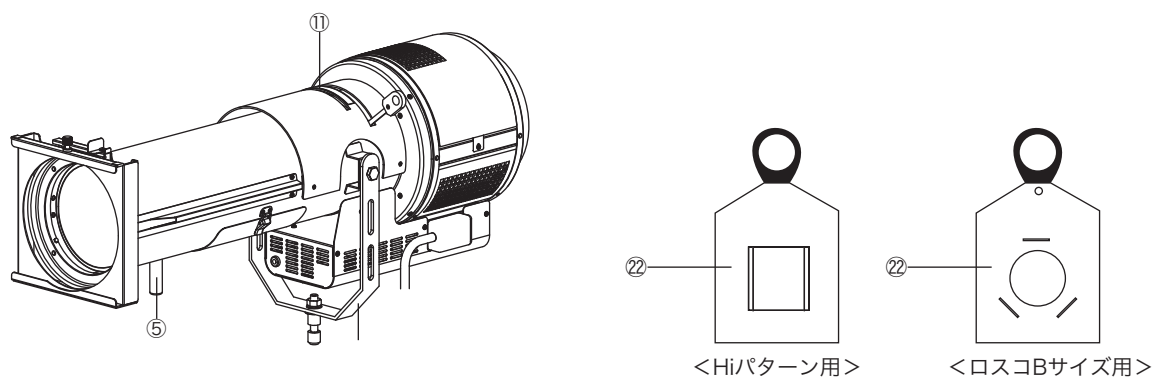
落下防止のため、フィルタホルダ固定ネジ①を時計回りにまわして確実に固定します。



## (7)パターンホルダの使用 (オプション)

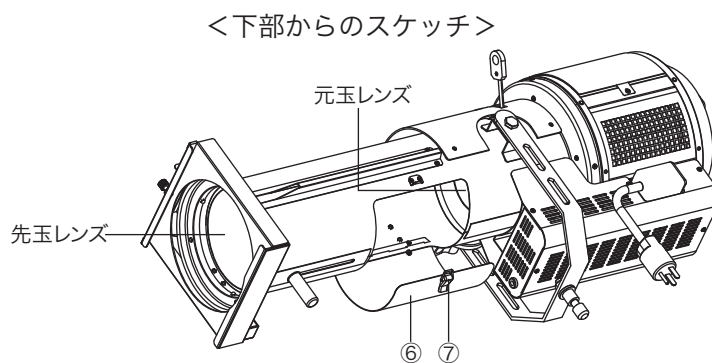
パターンホルダは必ず手袋をご使用のうえ操作してください。

- 1) パターンホルダ②にパターンを挟みます。  
映像はLED光源側から見たパターンの、上下左右が逆になりますので注意してください。
- 2) 器具のパターンホルダ挿入口①に、パターンホルダ②を挿入します。
- 3) フォーカス固定ハンドル⑤でピント調整をおこないます。



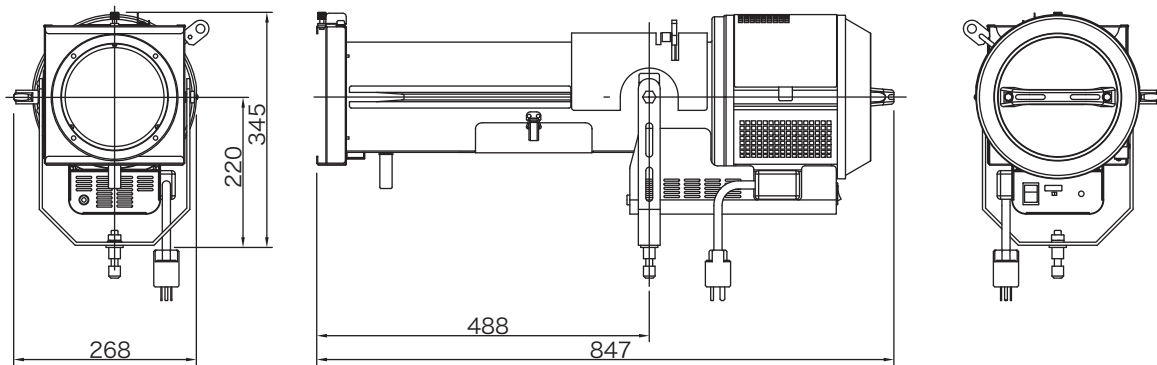
## [5]レンズの清掃

- 1) パッチン錠⑦をはずして、点検清掃用扉⑥を開けます。
- 2) レンズ (元玉・先玉) をアルコールで浸した布で清掃します。
- 3) 点検清掃用扉⑥を閉じパッチン錠⑦を留めます。

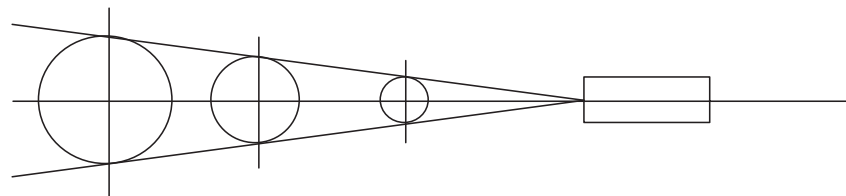


# 《外形寸法》

(単位：mm)



# 《照度データ》



15	10	5	投光距離 (m)
2.4	1.6	0.8	投光面直径 (φm)
652	1470	5870	最高照度 (lx)

# 《点検と修理》

## ■日常点検と整備のお奨め

お買い求めいただいた照明器具の性能を末長く維持し安全を確保するために、下記の日常点検項目に基づき、点検及び処置をしてください。

### —— 日常点検項目および処置 ——

分類	点検項目	処置			修理 依頼
		清掃	増締め	交換	
灯体	灯体、アーム、ダボに異常変形はないか。				○
	角度調整部の動作、ハンドルの締付けに異常はないか。				○
	脱落した部品はないか。				○
	フィルタホルダ枠に変形、歪み、などの損傷はないか。				○
	フィルタホルダ枠の押さえ金具（フィルタホルダ固定ネジ）に変形などの損傷はないか。				○
	フォーカス調整部は円滑に動作するか。				○
	ネジ類に緩みはないか。		○		
	灯体内に埃や紙吹雪はないか。	○			
	ダボの緩みはないか。				○
レンズ (元玉・先玉)	レンズは汚れていないか。	○			
	レンズに変色、ひび割れなどはないか。			○	
ファン	ファンは動作するか。				○
	異音はないか。				○
シャッタ	シャッタは正常に操作できるか。			○	○
プラグ	変色、損傷はないか。			○	
	端子ネジの緩みはないか。		○		
	プラグの着脱は良好か。			○	○
電源ケーブル	被覆に傷、変色、亀裂などはないか。				○
端子台	変色、破損、焼損はないか。				○
	端子ネジの緩みはないか。		○		
内部配線	変色、傷、焼損はないか。				○
絶縁抵抗	器具は漏電していないか。（絶縁抵抗 5 MΩ以上）				○

## ■定期点検のお奨め

- 使用期間における経年変化または、ご使用の状況によっては消耗、劣化する部品や絶縁性能の低下がありますので、専門技術者による定期点検をお奨めします。
- 定期点検（保守契約）については、弊社の支店ならびに営業所にお問い合わせください。

## ■修理

### (1) 修理の判断

上記日常点検項目に基づいて点検した結果、修理依頼の必要がある場合、及びその他の異常がある場合は、修理依頼をしてください。

- 修理は、弊社の支店ならびに営業所にお問い合わせください。

# 《仕様》

型 式 名 称	MP-6P-LED
定 格 電 圧	AC100V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	187W
フ ァ ン	DC12V/0.96W
最 高 周 囲 温 度	35°C
最 高 表 面 温 度	55°C
最 小 照 射 距 離	0.1m
最 小 離 隔 距 離	0.1m
使 用 角 度 範 囲	
照 射 角	9°
調 光 制 御	直点灯／調光フェーダ
レ ン ズ	ガラス製平凸レンズ・樹脂製フレネルレンズ
灯 体 材 質	アルミニウム（一部鋼板）
本 体 質 量	10.4kg
電 源 プ ラ グ	平行接地極付15A（ケーブル長2.0m）
フ ィ ル タ ホ ル ダ	195×195mm
光 源	高出力昼白色LED
相 関 色 温 度	5000K
平 均 演 色 評 価 数	Ra85（代表値）
オ プ シ ョ ン	スタンド、パターンホルダ（Hiパターン用・ロスコBサイズ用）

注意：LED素子には、色調、明るさにばらつきがあり、同一の形名の器具においても色調、明るさが異なることがあります。  
：入力電源はAC100V直電源を使用してください。

# 《弊社連絡先》

警告表示・銘板が読みにくくなったり、はがれそうになったときは、すぐに貼り替えて修復してください。  
また、商品のお問い合わせやアフターサービスは、最寄りのサービスセンター・支店等にご連絡ください。

東京サービスセンター TEL 03-3607-2166

サービスセンター フリーダイヤル 0120-092-714

記載の製品に関しましては、改良の為、予告なく仕様変更を行うことがありますので予めご了承ください。

## 株式会社 松村電機製作所

本 社 〒113-0031 東京都文京区根津2-12-1 TEL03-3821-6169(代) FAX03-5685-3144

東京支店 〒110-0008 東京都台東区池之端2-7-17井門池之端ビル4階 TEL03-3821-6161(代) FAX03-3821-6186

関西支店 〒530-0043 大阪市北区天満2-12-16 TEL06-6352-0245(代) FAX06-6352-2972

中部支店 〒460-0008 名古屋市中区栄5-28-12名古屋若宮ビル TEL052-265-1591(代) FAX052-265-1590

九州支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-15-20NMF博多駅前ビル TEL092-451-3831(代) FAX092-451-3829

東北支店 〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-6-2KJビルディング TEL022-221-7791(代) FAX022-267-6892

広島営業所 〒732-0052 広島市東区光町1-12-20もみじ広島光町ビル TEL082-569-8161(代) FAX082-569-8169

札幌営業所 〒060-0063 札幌市中央区南三条西3-8-1エテルノビル TEL011-210-9561(代) FAX011-210-9562

沖縄営業所 〒900-0033 沖縄県那覇市久米1-15-1上山ビル TEL098-860-6377(代) FAX098-860-6392

盛岡営業所 〒020-0021 盛岡市中央通1-9-11CUBE映画館通りビル4階H号室 TEL019-656-1588(代) FAX019-656-1589

MF(テレビ朝日) 〒110-0008 東京都台東区池之端2-7-17井門池之端ビル4階 TEL03-3821-6161(代) FAX03-3821-6186

サービスセンター 〒125-0052 東京都葛飾区柴又3-5-6 TEL03-3607-2166(代) FAX03-3627-2505

2022.10\_1